

伊藤 良則	財団法人癌研究会有明病院化学療法科・乳癌担当部長	腫瘍内科的診療。乳癌患者の骨髄中における残存癌細胞の検出及び評価
相羽 恵介	東京慈恵会医科大学・腫瘍血液学・教授	研究の総括

審査委員会の開催状況及び実施計画の変更を適当と認める理由	書類審査により、更なる経過観察が必要であり、実施計画の変更を適当と認めた。		
		審査委員会の長の職名	氏 名
		財団法人癌研究会有明病院副院長	山口 俊晴 (印)

研究の区分	○ 遺伝子治療臨床研究 遺伝子標識臨床研究		
研究の目的	(1) 大量化学療法を受けた乳癌症例への自己末梢血幹細胞移植時に CD34 抗原陽性細胞へ導入されたヒト多剤耐性遺伝子 (MDR1) の患者の骨髄細胞、末梢白血球における発現を評価する。 (2) 上記 MDR1 遺伝子導入に伴う安全性を評価する。 (3) 自己末梢血幹細胞移植併用大量化学療法施行後の乳癌症例に対する化学療法の有効性と安全性を評価する。		
対象疾患	進行再発乳癌		
変更時期	平成22年1月1日		
変更内容	実施計画書における事項	変更前	変更後
	1. 研究期間延長 2. 研究者名	平成21年12月31日 鶴尾隆	平成24年12月31日 削除
変更理由	1. 症例の経過観察延長のため		